

導入前の課題

私たちは、沖縄県に本社をもつ海運会社です。1950年の創業以来、本土～沖縄～台湾航路での海上輸送サービスを提供しています。

当社は、東京・大阪・福岡・鹿児島に事業所があります。

以前は、本社・支店間の営業ミーティングを行なう際、支店担当者が本社まで出張し、ミーティングを実施していました。また、社内会議やお客様との打ち合わせではプロジェクターを使用することも多く、部屋を暗くして投影するため煩わしさを感じていました。

導入後の効果

従来では、紙資料ベースでの会議や、会議中は個々のPCで資料を閲覧することが多かったのですが、MAXHUBでは1つの大きなスクリーンを参加者全員が閲覧しながら会議を進行できるため、「認識の共有」という点で非常に大きな役割を果たしていると感じます。また、MAXHUBのカメラやマイクは非常に性能がよく、大人数の会議でも問題なく音声を拾えることや、画質も鮮明な為、会議の進行はプロジェクター使用時よりも非常にスムーズに行なわれています。

また、本社・支店間での確認ごとは電話やメールで内容を共有し、部内へ報告といった「伝言ゲーム」のような実態がありましたが、今ではMAXHUBで複数名でのオンラインミーティングが可能なので、小さな案件でもリアルタイムで相談ができています。

今後の展望

現時点では、会議時のモニターとしての利用が比較的多いです。今後は、本社・支店間でのリアルタイムで情報共有が必要となる業務に対して、MAXHUBで効率化を図ることができればと考えています。例えば、悪天候時の運航スケジュールの調整について、本社で方針を決定後、各支店へメールや電話で情報共有をしていますが、MAXHUBを活用しリアルタイムで情報共有することで、お客様への情報提供もより早くなると考えられます。

またBCP対策の一環として各拠点にMAXHUBを入れることで、自然災害や事故など、万が一何かあった場合でも、即情報発信ができることもMAXHUBの強みだと思います。毎年実施している事故対応訓練でも、今年度はMAXHUBをうまく活用したいです。